

平成23年度校内研修計画

熊本市立川口小学校

(1) 校内研修の目的

- ① 学校教育目標及び努力事項の具現化を図るものとして、日常の研究活動の活性化と研究の推進を図る。
- ② 現在までの研究の実践をふまえ、全職員が共通理解をし、研究の組織的な推進や自主的な研究推進の意欲の向上を図る。
- ③ 日常の実践指導の場で、一人一人の子どもについて、個性や能力を最大限に引き出し、伸ばすように、教師としての指導力や資質の向上に努める。

(2) 校内研修の内容

- ① 研究の推進
 - ・ 研究テーマ等の共通理解
 - ・ 講師を招いての授業研究（特別支援教育の視点から）
 - ・ 研究成果のまとめと評価
 - ・ 理論に基づいた実践の積み重ね
- ② 人権教育の推進
 - ・ 子ども理解のための共通理解
 - ・ 人権週間の充実
 - ・ 地区別人権教育研修会、各種研修会への参加
 - ・ 日常の実践の積み重ね（随時指導）
 - ・ レポートによる研修
- ③ 特別支援教育の推進
 - ・ 発達障害や各種検査についての研修
 - ・ 実践報告会や各種研修会の復講による情報交換
 - ・ 資料収集と活用
 - ・ 特別支援教育の視点での授業実践

(3) 研究主題

① 研究主題

意欲的に学習し、生きる力を高めていく子どもの姿を求めて
～ 一人一人のニーズに応じた支援の工夫と
学習指導要領の改訂の趣旨を基盤にして ～

② 主題設定の理由

ア) 教育の今日的課題から

平成19年度から特別支援教育が法的に位置づけられ、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもへの支援体制も学校全体で取り組むようになってきた。しかし、平成14年度の全国調査で全体の約6%と言われた支援の必要な子どもたちの割合は増加傾向にあると言われている。そのような中、支援体制は学校全体で取り組むようになってきたものの、実際の授業では全時間を複数支援体制で取り組むこともできず、ほとんどの授業が学級担任だけで指導しているというのが現状である。そこで、支援の必要な子どもたちの捉え方や支援の方法などを学び、どの子どもも意欲的に学習できるような授業づくりを考えていく必要がある。

また、新学習指導要領の移行期間を終え、本年度から本格実施となった。教科書も変わり、

教科書の指導法・活用法も教師の大きな課題となっている。学習指導要領の改訂の趣旨を実際の授業場面でどのように反映していけばよいのか、研究していく必要もある。

イ) これまでの研究と本校の実態から

これまで本校では、少人数指導や特別支援教育を基盤として、一人一人の教育的ニーズに応じた支援の工夫に取り組んできた。本校には、発達障害の診断を受けている子どもが多く、また診断名がついていなくても支援の必要な子どもも多い。そこで昨年度は、子ども理解をベースに、子どもの捉え方や具体的なつまづきを学び合い、それに対する支援方法・環境作りなどを中心に取り組んできた。そして、実際の授業場面においてにおいて、どのような支援方法があるのかを考えてきた。いろいろな授業場面でそれぞれの授業者が工夫していることが、教師一人一人の学びとなり、自分の実践に活用することができた。また、教科を絞らず、いろいろな授業を観たことで、普段なかなか観ることのできない音楽の鑑賞や家庭科などの授業を観ることができ、授業づくりのポイントも参考にすることができた。

今年度はほとんどのクラスで担任が替わり、新しい環境の中でこれまでと違った視点での子どもの捉え方ができると考える。また、昨年度までに実践してきたことを継続したり、新たなアプローチを考えたりすることで、これまでの実践を広めたり深めたりできると考える。

ウ) 「意欲的に学習する姿」の必要性から

「教室の子どもたちは、最初から無気力なのではなく、教室での学習過程において無気力になるのであり、無力感を学習した結果、学ぶ意欲が持たなくなっていく。」と言われる。また、3年前の校内研修で「どんなにスキルを積んでも、自尊感情の低い子どもたちは積み上げができない。」と指導していただいたこともある。このことから、自尊感情を高めながら、子どもたちの「学びたい」という気持ちを大事に育てていく必要がある。そして、学習意欲を育てることができるかどうかは、毎日の授業にかかっており、私たちは常に「意欲的に学習する姿」を求めながら、授業に臨むことが大切である。

③ 「意欲的に学習する子どもの姿」とは

- ・既習事項や体験と結び付けて、自分なりの考えで解こうとしている姿
- ・今までの学習を振り返っている姿
- ・ヒントや具体物を手がかりに考えようとしている姿
- ・一生懸命悩んでいる姿
- ・友達の考えやヒントをまねしようとしている姿
- ・自分の考えを発表しようとしている姿
- ・友達の発表を一生懸命聞いている姿
- ・友達の考えと比べている姿
- ・問題が解けて喜んでいる姿
- ・学んだことを生活に生かしている姿 など

④ 研究の仮説

学習指導要領の改訂の趣旨をベースに、子ども一人一人の特性に気づき、その教育的ニーズに応じた支援を工夫していけば、意欲的に学習する子どもの姿が増えるだろう。

⑤ 研究の視点

視点① 子ども理解

- ・発達障害についての理解
- ・つまずきの事例研究
- ・自尊感情を高める工夫
- ・パーソナルポートフォリオの活用

視点② 仲間づくり

- ・安心して学べる支持的風土づくり
- ・一人一人のよさがわかり、認め合える仲間づくり

視点③ 個に応じた指導法の工夫

- ・配慮の必要な子どもを中心に据えた授業作り
- ・具体的な支援方法の工夫

視点④ 基礎基本の定着

- ・言語活動の充実
- ・実態に応じた学習過程の工夫
- ・ドリル学習の工夫
- ・朝自習の工夫
- ・ビジョントレーニング
- ・個別指導の充実

視点⑤ 意欲的に学べる環境づくりの工夫

- ・安心して学習できる環境づくり（座席の工夫やスペースの活用など）
- ・図書室利用
- ・ICT活用

視点⑥ 家庭や地域との連携

- ・家庭との連携（電話、連絡帳、教育相談等）
- ・専門機関との連携
- ・保育園や中学校との情報交換

⑥ 研究方法

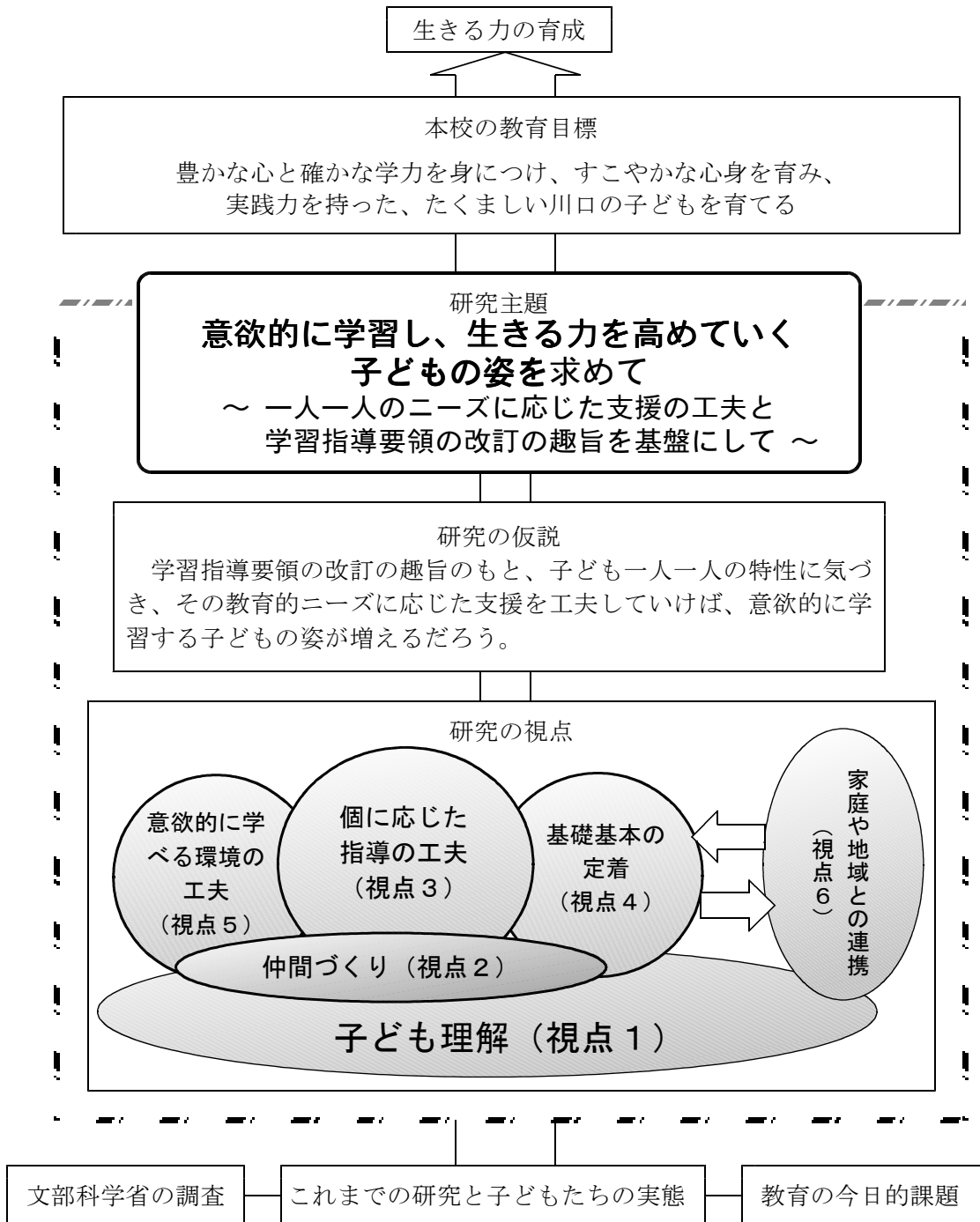
○理論研究

○研究授業及び授業研究会

- ・日々の授業のレベルアップができ、次の日の授業に生かせるような研究会にする。
- ・提案授業でなく、普段の授業を公開する。
- ・指導案は子どもの実態、毎日の授業で気をつけていることや支援の工夫を中心に書く。
また、授業の流れは、子どもたちの反応を見て修正しながら授業を展開していく。
- ・授業記録は、ビデオ（授業の流れ）と、写真（意欲的に学習する子どもの姿と教師の援
を中心に）で記録する。
- ・参観者は、授業中に気づきを付箋紙に書く。
良かったところ、まねしたいところ・・・・・・・・青
工夫が必要なところ、自分だったらこうする・・・・・・・・赤
- ・授業中に記録した付箋紙は、司会の先生に渡し、授業研究会の参考にする。

○日常指導

(4) 研究構想図



(5) 校内研修年間計画

	月/日(曜)	領域	研修の内容	講師・担当
1	5/9(月)	テーマ研修 教科	今年度の研究テーマ、研修計画について 学校経営案について 各教科年間指導計画・教科経営案等について	深川 教頭 深川
2	5/20(金)	人権教育 教科	児童の実態についての共通理解① 学校経営案作成 評価規準表・学校経営案の作成	原田・片平 各教科担当
3	6/1(水)	教科	児童の実態についての共通理解② 各教科年間指導計画・教科経営案等作成	原田片平 各教科担当

4	6/6(月)	教科	外国語活動演習	東田・ケヴィン
5	6/14(火)	健康安全	心肺蘇生法	中村・消防署
6	6/20(月)	教科 基礎基本 自尊感情	新学習指導要領について（講話） ビジョントレーニングについて パーソナルポートフォリオについて	校長 片平 深川
7	6/28(火)	教科	新学習指導要領について（講話）	講師 附属小 濱本先生
8	7/4(月)	特別支援教育	事前研（1年）	低学年部
9	7/11(月)	特別支援教育	研究授業（1年）・授業研究会	講師 指導課 野田指導主事
10	7/21(木)	保小中連携研 ICT活用	保育参観 パソコン実技研修（電子黒板について）	片平 東田・ヘルプデスク
11	8/18(木)	人権教育 人権教育	レポート検討会（代表レポートについて） 講話「人権教育の取り組みについて」	原田・片平 講師 人権教育指導 室 松島指導主事
12	8/29(月)	教科	体育実技研修	中村・片平
13	9/5(月)	特別支援教育	事前研（公開授業ウィーク①）	
14	9/12(月)	特別支援教育	公開授業についての意見交換①	
15	9/26(月)	特別支援教育	事前研（6年）	高学年部
16	10/17(月)	特別支援教育	研究授業（6年）・授業研究会	講師 指導課 中村指導主事
17	10/31(月)	人権教育	レポート学習会（全員レポートについて）	原田・片平
18	11/14(月)	特別支援教育	事前研（公開授業ウィーク②）	
19	11/21(月)	特別支援教育	公開授業についての意見交換②	
20	11/28(月)	特別支援教育	事前研（公開授業ウィーク③）	
21	12/5(月)	特別支援教育	公開授業についての意見交換③	
22	12/12(月)	ICT活用	Word、Excelの操作方法・活用法	東田・ヘルプデスク
23	1/16(月)	特別支援教育	実践報告会	小崎
24	1/23(月)	教科	事前研（3年）	中学年部
25	1/31(火)	特別支援教育	研究授業（3年）・授業研究会	講師 東町小 城門校長先生
26	2/13(月)		研究発表会・研究会復講	小崎
27	2/20(月)	教科	図工の鑑賞について （校内作品展と関連して）	講師 指導課 北野指導主事
28	2/27(月)	各教科	各教科の反省と見直し（総合も含めて）	
29	3/5(月)	テーマ研修	研修の反省と来年度への志向	